

## 第2子保育料の無料化は今年12月を予定 認定こども園移行を枝川・吾北両園で検討



井上 敏雄 議員

町は、合併から今日まで530人以上も人口が減少。少子高齢化も一段と進むことは、社会・経済の活力をそぎ、社会保障制度の維持を困難にする。

そのため、若者世帯が安心して子育てしやすい町とし、他の地区の若者呼び込むためにも、決断は今だ。

### 池田町長

第2子以降の保育料無料化を12月実施に向け早急に取り進む。手順は、早ければ6月下旬に教育委員会会議を開催。その後、7月ご

ろに総合教育会議で協議・調整を図っていく。

8月に庁内協議を行い、総務文教常任委員会に状況報告を行う予定である。

9月議会に補正予算案を提案する。議案が可決となれば教育委員会で協議し、幼保両園の保護者に周知を図る。その後、システムを変更し、対象児の抽出などを行い実施となる。

### 幼保一体化を図れ

#### 井上議員

保育園入園は、保護者の就労の制約があり、女性の活躍社会をと言いつながら、これでは就職活動もままならない。保護者就労に関係ない幼保一体化を目指せ。

#### 池田町長

保育園入園は、保護者の就労問題がある。就職活動を理由に入園する場合は、



枝川幼稚・保育園

入園承諾期間が3か月となり、保護者には非常に短期間となるなど制約がある。そこで、認定こども園が幼保の機能を併せ持ち、柔軟に子どもを受け入れる施設であるため、枝川・吾北各幼保両園において、認定こども園への移行を検討している。

利点は、3歳児以上は保護者の就労状況に関係なく同一施設に在籍可能であり幼児や保護者の負担は軽減される。また、育児相談の実施、一時預かりなど地域の子育て支援の場として、役割を果たすための事業を実施することが必須であり、さらなる子育て支援の充実が図られる。

ただ、3〜5歳児は幼保両園の各クラスが合同となるため、幼稚園児には集団が大きくなり、環境の変化を伴うこととなる。

その準備段階で教育・保育課程に作り替え、指導計画や月案などを県の指導を受けながら、1年かけて整備することとなる。

その後は、保護者への十分な説明を行い、理解を得ることができれば、順次移行に向け書類整備、環境整備などを行うこととする。

### 総合案内所を 早急に設置

#### 井上議員

総合案内所を早急に設置し、住民サービスの向上を。

#### 池田町長

総合案内所は、1階中央階段付近への設置を計画している。現在、総合案内に必要なパソコン類の機器用品などを内部調整している。

まずは、内線工事後、暫定的に早急に設置を行う。

また、現在、庁舎内の各課への誘導表示を、今後もし、いかに効率的で分かりやすい表示ができるか研究し、住民サービスの向上に努める。

### その他の質問

- ・町中心市街地活性化構想への対応は
- ・高知西バイパス沿いの枝川地区に直販所・観光案内施設・休憩施設などの整備の検討をすべきでは
- ・業種別町内業者優先の整合性は（公共工事・印刷業者・その他納入業者）ふるさと納税制度への積極的対応で自主財源確保と地域活性化を目指せ
- ・ムササビ温泉の経営改革に取り進むべきだ
- ・いじめ問題への町教委と学校の対応は適切か
- ・菊池学園・菊池寺子屋と教員の異動の関係は
- ・他の自治体と連携強化の山岳観光への取り組みは
- ・耐震診断請負契約に関する事項の改正を
- ・予定価格の事後公表を